

令和元年度 ご挨拶
「共生 自立」そして「貢献」へ

本校は、創立73周年を迎える「歴史と伝統のある地域の学校」です。これまでに多くの保護者の皆様や地域の方々から、心温かなご支援をいただき心から感謝申し上げます。

「共生 自立」を教育目標に掲げ、2学期に行われる「わかたけ祭」と「合唱祭」という2大行事を節目としながら、生徒と教師が一緒になり、新たな伝統づくりに取り組んでいます。日常生活には、自分から笑顔で挨拶をしてくれる子、授業中に自らの考えを堂々と発言する子、表情豊かに歌声を響かせる子、部活動で汗を流す子、黙々と清掃活動に取り組む子など、「中学生らしいさわやかな姿」が溢れています。

「安心感と充実感」の中で、生徒一人一人の心を育て、一人一人の力を伸ばすことができ、在学中はもとより卒業後も「穂積中学校で学んだことに誇りを感じる」…そんな学校でありたいと願っています。また、今の子供たちが大人になって生きていく社会は、人工知能やグローバル化など、想像以上に大きく変化していくと言われていています。大学入試制度も変わって行きます。そういった将来の動きも見据えて、社会で通用する力を育てるべく、日常の教育の充実に努めていきます。すなわちそれは、「どのような状況においても、夢や願いをあきらめずに、様々な人々と関わり合い、どうすることが人として幸せな生き方なのかを自ら考え、判断・決定し、自ら創造的に行動し続けようとする意欲と力」の獲得に他ならないと考えています。

中学時代というのは、心身の成長が著しく、逆に不安定さの中で葛藤しながら、自分自身の生き方を確立していく時期です。そんな時、子供たちにとって最も大きな力になるのが保護者の皆様の温かな支えです。今後も、かけがえのない命と無限の可能性をもつ子供たち一人一人を、保護者の皆様や地域の方々と一緒に全力で守り、育てていく所存です。ご理解とご協力のほどをお願い申し上げます。

瑞穂市立穂積中学校
校長 福地 淳宏